

夏の暑さは峠を越えたと思いますが、これから秋を迎え、
台風などによる大雨を警戒する時期となりました。

今年も約3分の2が過ぎ、9月に入りました。例年この時期なりますと、台風が近づいてきたり、天候が安定せずに突然の大雨に見舞われることが多くなってまいります。最近よく報道される線状降水帯などによる災害はいつ自分の身に降りかかるかはわかりません。普段から防災対策に気を配っているとは思いますが、もう一度確認をお願いいたします。

- 1, ハザードマップで自宅のリスクと避難ルートを確認
- 2, 被害を減らすための対策を（大雨・豪雨から身を守る浸水への備え）
 - ・側溝、排水溝を掃除して水の流れをよくする
 - ・玄関や出入り口をふさぐための“土のう”や“水のう”を準備する
 - ・外に置いてあるものを確認し、片付けるなどして強風にあおられて飛び散らないようにしましょう
- 3, 避難時の服装と避難前、避難時に行う確認・注意

避難時の服装

- ・マスクをつける
- ・長ズボン、長袖を着る（雨合羽が理想的、寒さ、暑さに合わせて調整）
- ・手袋をつける（すぐに行動できるように両手は空けておくこと）
- ・傘は閉じて杖の代わりに
- ・履きなれたスニーカーをはく（膝まで浸水した場合、長靴だと歩きにくくなります）

避難する前の確認

- ・ブレーカーを落とす
- ・ガスの元栓を止める
- ・空き巣を防ぐために戸締りも忘れずに

避難時に注意すること

- ・側溝やふたの空いたマンホールへの転落に要警戒
- ・できるだけ2人以上で行動、傘や棒などで常に足元を確認
- ・できるだけ明るい時間に避難



今回は大雨における避難に備えることの一部をお届けしました。非常用持ち出し袋の確認や常備品の確認など今回は省きましたが、万が一の時に、今、できることを考え、実行しましょう。

少年少女ジョギング大会中止のお知らせ

伏古本町地区青少年育成委員会が10月9日（日）に開催を予定しておりました「少年少女ジョギング大会」は新型コロナウイルス感染症の流行の拡大が収まらない状況での開催は難しいと判断いたしましたので今年度も中止とさせていただきます。

一日も早く新型コロナウイルス感染症の流行が終息し、来年こそは開催できることを願っております。

内水氾濫地図をご紹介します。

- 内水氾濫とは下水道で処理しきれず発生する浸水です。
- 過去に浸水した箇所は点線で囲まれています。
- ハザードマップは札幌市のホームページから確認できます。
(https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/ssh_map.html
左のQRコードからでもホームページへ進めます。)



内水氾濫避難地図 東区⑥ ▶下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定

